

委員会がない？

先週の金曜日、岐阜新聞社本社において、岐阜県優秀校の表彰を市川生徒会長とともに受けてきました。北中校区と北中生が強く結びついたという事実が評価されました。当たり前のように取り組んできたことが突然注目を浴びることとなり、生徒の皆さんは実感がわかないかもしれませんね。先輩から受け継ぎこれまで自分たちが取り組んできたことを、今後もどんどん発展させてほしいと願っています。

そんななか、北中に刺激となる事実を知ることができました。皆さんはそれをどう思うでしょうか。ぜひ知りたいところです。受賞した四校の中に、下呂市立下呂中学校がありました。タブレット端末などを活用し、生徒が課題を追究する授業をしていることが評価された学校です。本日新聞に載っていた下呂中学校の紹介文章の中に、次のような部分がありました。

「生徒会も本年度から委員会をなくした。運動会や合唱祭は、感染予防策も考えながら、生徒が中心となって企画運営した。」
委員会がない？ここに私は興味を持ちました。生徒会のそれぞ

れの執行機関連である委員会がない状況で、果たして学校が回っているのだろうか。皆さん想像してみてください。北中から委員会がなくなったらどうでしょうか。図書の貸し出し業務はどうなるのでしょうか。保健委員会の健康チェックは……給食委員会の配膳室当番は……授業の発言や聞く姿勢は……委員会があるのが当たり前。の生活を送ってきた北中では、想像できないことかもしれませんね。実際に委員会がなくなって、下呂中の学習や生活がどのようなに

回っているか、私にはわかりません。何か機会があったら、ぜひ知りたいと思っ
ます。想像するに、委員会がなくても学校が回っている
ということ、立場だから動くのではなく、生徒一人一人が何をやるべきかを主体的に考えて、立場などなくても積極的に動くことができるからではないでしょうか。
その主体性が、紹介文の続きにある「行事も生徒が中心となって企画運営したこと」、そして、「タブレットを活用し、生徒が課題を追究する授業をしていること」につながるような気がします。
同じ岐阜県の中に、主体性を大いに発揮している学校があることを知って、ぜひとも刺激にしてください。やるように言われたこと

やると決まっている

ことだけに取り組みのを
よしとする時代は終わっ
たと言えます。これから
大切なのは、やるかやら
ないかからスタートし、
自分で考えた方法で問
題を解決していく力です。

9:41 63%

創意光る教育を实践 岐阜県優秀校4校
表彰式

2021年12月18日 08:24



第64回県優秀校の表彰式で賞状を手にする4校の児童生徒と校長ら＝17日午後3時25分、岐阜新聞社本社

小中学校の優れた教育実践をたたえる第64回県優秀校（岐阜新聞社、岐阜放送主催、県教育委員会協力、小学館協賛）の表彰式が17日、岐阜新聞社本社で行われた。今年の優秀校は那加第二小学校（各務原市）、南ヶ丘小学校（関市）、瑞浪北中学校（瑞浪市）、下呂中学校（下呂市）の4校。

式典では、各校の児童、生徒、校長らに矢島兼岐阜新聞社長から表彰状が贈られた。懇話会岐阜県教育長は「コロナ禍で発表の場はことごとく失われたが、みんなで成果を残してくれた。取り組みが引き継がれていくことを楽しみにしている」と述べ、4校の実践をそれぞれたたえた。

（十二月二十日記）